

岡山展示会・講演会

# 「東亜同文書院」の誕生史と「岡山」



展示会

2023年7月21日(金)～23日(日)

10:00～17:00 (※23日は15:00まで)

会場:岡山県天神山文化プラザ 地下1階 第2展示室

予約不要・  
入場無料

講演会

2023年7月22日(土) 13:30～16:30

会場:岡山県天神山文化プラザ 3階 第2会議室

◆ 13:30～インターネットによる東亜同文書院史料の発掘収集

有森茂生 (愛知大学 法経学部 法学科 昭和52年卒)

◆ 14:15～岡山が生んだ岸田吟香と上海

藤田佳久 (愛知大学 名誉教授)

◆ 15:30～「晴れの国」岡山と近代中国—児島野崎家、閑谷学校、日清貿易研究所—

土屋 洋 (名古屋大学大学院 人文学研究科 准教授)



会場

指定管理者 公益社団法人 岡山県文化連盟

## 岡山県天神山文化プラザ

〒700-0814

岡山市北区天神町8-54

TEL:086-226-5005

FAX:086-226-5008

※ご来場の際は公共交通機関をご利用いただくか近隣のパーキングをご利用ください。



主催 愛知大学東亜同文書院大学記念センター

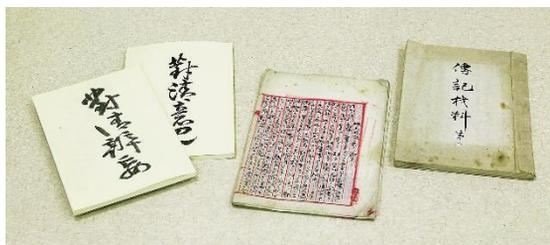
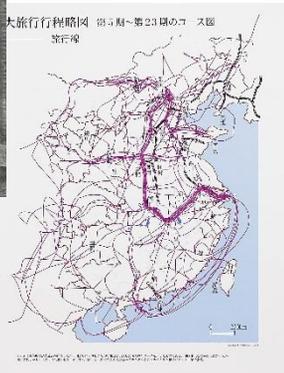
お問い合わせ先 TEL:0532-47-4139 Email:toa@ml.aichi-u.ac.jp

後援:一般財団法人霞山会、愛知大学同窓会、公益財団法人愛知大学教育研究支援財団



# 岡山展示会での展示物（抜粋）

## 東亜同文書院大学関連資料



### 荒尾精が書き記したもの

右から順に『伝記材料第二』、『媾和締盟二対スル鄙見』、『対清意見』（1894年10月、復刻版）、『対清辨妄』（1895年3月、復刻版）。日清戦争当時の国民世論に反し、広く対局を見て冷静に判断すべきことを訴えた。1896年（明治29年）台湾にて逝去。まだ十分活躍できる38歳であった。



### 大旅行

東亜同文書院では卒業年度になると3~5人のグループごとに中国大陸各地へ3~5か月におよぶ徒歩中心の調査旅行が行われた。（現在の大学2、3年生）卒業論文となった「調査報告書」、日記体の記録「大旅行誌」は当時の中国を知る貴重な資料となっている。



東亜同文書院大学の学籍簿・成績簿  
敗戦・閉校にともない、本間らの苦心により接収を免れ、なによりも優先して上海から教職員、学生が持ち帰ったもの。



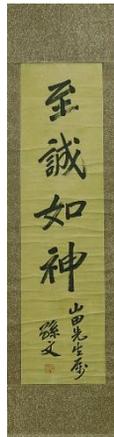
### 本間喜一への復帰嘆願書

東亜同文書院を辞職して帰国した本間喜一への、学生26名による復帰嘆願書。1942年5月11日。本間教授を信頼し、慕う学生たちの気持ちがあふれている。これより本間教授は帰院し、学長に就任した。

## 大学記念館コレクション（孫文関連資料、近衛篤磨・文磨の書など）

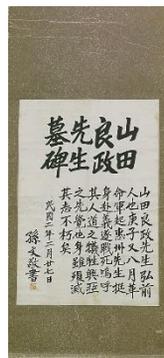


孫文と山田純三郎兄弟  
山田純三郎は、兄の良政亡き後、東亜同文書院教員を経て、孫文の側近として活躍。



山田良政  
(1867~1900年、33歳で没)

「山田良政先生墓碑」孫文書  
孫文が公式訪問した折、東京谷中の全生庵に建立された墓碑の銘文を一部書き換えたもの。1913年2月17日。



「山田良政先生之碑」孫文書  
青森県弘前市新寺町 貞昌寺  
1919年9月29日。



愛知大学記念館常設展示室  
「荒尾精、近衛家4代、根津一の書展示室」  
よりいずれかを出品。